

12月26日(土曜日)「主の再臨」

【新改訳 2017】

ヘブル 9・27、28

「そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。」

ここには、いくつかの重要なことが記されています。

人間は死後にさばかれる(=神の前で人生の清算をさせられる)ということが1つ。また、キリストにはもう一度、この地上に見えるお姿でおいでになる(=再臨される)という2つ目のことです。しかしこの時は、初臨の時のようにご自分を低くして身代わりとなるためではなく、キリストを待ち望んでいる人たちの救いの完成のためと、最後の審判のために来られるのです(マタイ 25・31-46 ほか)。

罪と暗黒の世がただ続くのではなく、時が来ると主イエス・キリストは必ず再臨され、サタンと罪をさばき、御国を成就さ

れるのです。その時、あなたはどうか対応されるでしょうか。

～祈り～

主よ。あなたは、再びこの地上においでになり、私たちの救いを全うしてくださることを感謝します。一人でも多くの方が主を信じ、ご再臨を待ち望むことができますように。

【学びのために】

教会暦に合わせる関係上、日課の順序が少し前後しています。ここには、キリストが降誕とは異なった仕方で、再びこの地上に来られることを記しています。「キリストの再臨」と言われ、キリスト教の終末観の特徴であり、重大事です。幼子としてではなく、王の王として来られるというのです。